

令和2年度(第1回)県政モニターアンケート集計結果

〈生涯学習について〉

【調査の目的】

近年、少子高齢化による労働人口の減少、科学技術の高度化や経済のグローバル化など、社会や経済が大きく変化し、私たちがいきいきとした生活を営むためには、これまでの趣味・教養や知識の習得だけでなく、職業上の能力を経済的に高めていくことや地域社会の課題に地域で対応できる能力を身につける必要があります。

このように、社会の変化にともなって生涯学習に求められるものも変わっていく中、更に生涯学習を推進していくための施策検討のため、生涯学習に関する皆さんの現状やご意見をお伺いし、参考とさせていただきます。

(人づくり・県民生活部 社会活動推進課)

※生涯学習とは

人々が自発的意思に基づいて、「自己の充実」、「生活の向上」、「職業能力の向上」のために、自ら学ぶ内容を選び取り、充実した人生を送ることを目指して生涯にわたって行う学習のことです。

※1 回答者数:379名

※2:問1～問8まで複数回答可

問1	この1年間に次のような学習をしたことがありますか。	回答件数	913
1	趣味的・教養的なこと(音楽、美術など)	191	50.4%
2	健康やスポーツに関すること(健康法など)	164	43.3%
3	子育てや福祉(介護、手話など)に関すること	93	24.5%
4	地域活動などの社会貢献活動に関すること	89	23.5%
5	仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など	174	45.9%
6	日常生活での実用的な知識や技能(料理など)	142	37.5%
7	その他	10	2.6%
8	特にしていない	50	13.2%

【その他】※抜粋

- ・防災士資格取得
- ・社会交流・意思疎通
- ・資産運用

問2	生涯学習を行う場合、どのように情報を入手していますか。	回答件数	825
1	県や市町村が発行している広報誌やチラシ	281	74.1%
2	県(ふくおか生涯学習ひろば)や市町村のホームページ	133	35.1%
3	県や市町村以外のウェブサイト	138	36.4%
4	公民館の掲示物(ポスター・チラシ)	93	24.5%
5	新聞	117	30.9%
6	その他	63	16.6%

【その他】※抜粋

- ・インターネット、SNS
- ・親、知人、職場、学校など周囲からの情報
- ・図書館、通信教育、書籍、フリーペーパー、チラシ
- ・テレビ、ラジオ

問3	今後学習を行う場合、どのような講座に参加したいと思いますか。	回答件数	922
1	公民館など公的な機関が開催する講座	192	50.7%
2	大学などの公開講座	167	44.1%
3	工場見学・モノづくり体験など企業の専門性を生かした講座	164	43.3%
4	NPO・ボランティア団体などが開催する講座や体験活動	103	27.2%
5	民間のカルチャーセンターやスポーツクラブなどの講座、教室	146	38.5%
6	通信教育や放送大学の講座	122	32.2%
7	特に参加したいとは思はない	20	5.3%
8	その他	8	2.1%

【その他】※抜粋

- ・SDGs
- ・オンライン講座
- ・地域の医療機関開催の救護研修・健康セミナー

問4	今後学習を行う場合、どのようなことを学びたいと思いますか。	回答件数	1,063
	1 地域の歴史や伝統などに関すること	115	30.3%
	2 地域課題(少子高齢化、防犯・防災、環境など)の解決に関すること	100	26.4%
	3 趣味的・教養的なこと	233	61.5%
	4 健康やスポーツに関すること	177	46.7%
	5 子育てや福祉に関すること	96	25.3%
	6 料理やパソコンなど日常生活に役立つこと	167	44.1%
	7 仕事に関係のある知識の習得や資格の取得など	163	43.0%
	8 生涯学習に関心が無い	5	1.3%
	9 その他	7	1.8%

【その他】※抜粋

- ・英語
- ・インターネット
- ・社会交流等
- ・老荘思想・仏教哲学

問5	学習によって身につけた知識・技術や試験をどのように生かしていますか。	回答件数	696
	1 地域活動やボランティア活動に生かしている	79	20.8%
	2 子育てや教育に関する活動で生かしている	82	21.6%
	3 指導者として、他の人の学習やスポーツ、文化活動などの指導に生かしている	47	12.4%
	4 仕事や就職の上で生かしている	203	53.6%
	5 家庭や日常生活に生かしている	237	62.5%
	6 特に生かしていない	43	11.3%
	7 その他	5	1.3%

問6	地域や社会でどのような活動に参加してみたいと思いますか。	回答件数	911
	1 スポーツ・文化活動	190	50.1%
	2 地域の子どものためのレクリエーション活動や自然体験活動など	93	24.5%
	3 防犯・防災活動	71	18.7%
	4 子育て・育児を支援する活動	108	28.5%
	5 地域の環境保全に関する活動	94	24.8%
	6 地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動	91	24.0%
	7 地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動	104	27.4%
	8 障がい者や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	85	22.4%
	9 学校の環境整備(花壇の整備など)や教育活動を支援するなど、地域が学校と協働する活動	66	17.4%
	10 その他	9	2.4%

【その他】※抜粋

- ・教育支援
- ・特になし
- ・自身が障がい者のため活動するには現実難しい

問7	多くの人が地域や社会への活動に参加するようになるためにはどのようなことが必要だと思いますか。	回答件数	938
	1 地域や社会での活動に関する情報提供	247	65.2%
	2 地域や社会に関する講習会の開催など、活動への参加につながるようなきっかけづくり	243	64.1%
	3 活動の成果が社会的に評価されること	127	33.5%
	4 交通費などの必要経費の支援	137	36.1%
	5 コーディネーターなど、地域や社会での活動を支える人的体制や活動の拠点となる場が整っていること	159	42.0%
	6 その他	25	6.6%

【その他】※抜粋

- ・自分の生活に時間と金銭的な余裕
- ・平日以外の参加日時が幅広く選択できるとよい
- ・ボランティアセンターの充実
- ・参加特典を設ける ・ポイント制(参加者にメリット)
- ・サークル、Facebookグループ、同業者／異業種交流など、様々なコミュニティごとに取り組む形を取る。参加に乗り気でない人も、「誰とするか」によっては参加するかもしれない。

問8	学習で得た知識や経験を地域活動やボランティア活動などに効果的に生かしていくためには、行政はどのような取り組みや支援を行っていくべきだと思いますか。	回答件数	882
1	地域活動の中心となり活躍できる人材育成の提供	196	51.7%
2	住んでいる地域の良さや課題を考える講座の提供	135	35.6%
3	単に講座を受けるだけでなく、受講者も企画などに関わることができる仕組みづくり	186	49.1%
4	NPOや企業と連携した社会貢献活動など体験メニューの充実	113	29.8%
5	表彰制度など学習成果が公的に評価されるための仕組みづくり	74	19.5%
6	学習成果を発揮できる場や機会(地域活動やボランティア活動への参加など)の情報の提供	165	43.5%
7	その他	13	3.4%

【その他】※抜粋

- ・公的施設の支援
- ・地域活動に参加するための有給取得やシフトの休み指定など、理解を示す企業が増えるように啓発
- ・どのようなニーズがあって、どのような人材がいるのかを管理してマッチングするシステム
- ・費用の助成 ・有償のボランティア
- ・地域活動やボランティア活動に参加することを、講座の単位認定要件に入れる。(講座主催からフォローを入れる)

問9	生涯学習について、これまでの設問以外に意見がありますか。	回答件数	379
1	ある(次の設問で具体的に記入してください)	34	9%
2	特になし	345	91%

○地域貢献・社会貢献活動

・社会教育が生涯学習という名に変わって久しいですが、生涯学習は個人の学びというイメージがあります。もっと社会のことを考えた学びということでは社会教育という方が合うように思います。ボランティアは生きがいにつながります。高齢者の活躍を進める上でも、有償ボランティアという考えを広めるのもいいのではないのでしょうか。(70歳以上/女性)

○地域社会との関わり方

・生涯学習は自ら行うと思っているので地域や公民館などがあまりに積極的になるとその地域の町内でそれに応じた委員などの設定ができるようになるのでは？ボランティアであり、強制的に委員を設定することには反対です。(50代/女性)

○生涯学習に取り組める環境づくり

- ・高齢者が生涯学習に積極的に取り組めるような場を、もっと提供してほしい。(20代/男性)
- ・学ぶ機会の提供、案内を出す際、言葉の使い方が堅苦しいので、受講するハードルが高いような気がします。子供の頃から学びの体験が身に付いていないから、大人になってからの学びの一步が出ないのではないかと。(40代/女性)
- ・場所の提供に加え、オンラインによる場も提供し、時間的制約などを緩和できる工夫も必要である。(40代/男性)
- ・生涯学習の要は図書館だと思います。図書館に予算をたくさん充ててほしいです。(30代/女性)
- ・高齢化社会になり、高齢者の活動が、少なくなっているように思います。高齢者が、楽しく外に出かけられるような環境を作っていただきたい。(70歳以上/女性)

○生涯学習機会に関する要望

- ・公民館などの講座は幼稚園～小学生の子供がいると参加しにくい時間帯が多いです。育児中の主婦向けのを増やしてほしい。(40代/女性)
- ・平日の昼に開催されるものが多く、高齢者の参加がほとんどであるという印象。働いている人が参加可能な土日や夜の開催を希望します。(50代/男性)
- ・働いている人も参加しやすいように、受講しやすいようなカリキュラムにして欲しい。例えば、毎週○曜日○時からと1回しかないのでは、シフト制で仕事をしている人は継続できないし、参加自体できないので、同じ講座が週に数回、時間を変えて開催されれば、参加可能な方が増えると思います。(50代/女性)

・小さな市町村ではなかなかこのような機会が開催されず、わざわざ時間をかけて出かけて行かないといけないと感じている。参加者の集め方も個々の団体を招待したり積極的に学校などで呼びかけるなどすると人数が集まるのではと思う。(30代/女性)

・働いている世代や一人暮らしの人間は参加しづらい。短時間でも仕事帰りなどに気楽に参加できるようなプログラムが欲しい。(20代/女性)

・生涯学習というと仕事を退職した人を対象として、参加者も高齢者が多いイメージ。若い人も気軽に参加できるような講座を作ってほしい。1回完結型の講座に参加してみたい。(30代/女性)

○参加したい講座や希望する講座のあり方

・生涯学習で学んだことが、地域や社会でも役にたちますが、自分自身の豊かな生活にもつながると思います。誰もが気軽に参加できる講座やセミナー、体験などあるといいと思います。(60代/女性)

・高齢化に伴う年齢層に合った講座や催しが少なく、子育て支援ばかり優先した催しが多すぎる。年齢構成に比例して開設・開催すべきだと思う。(60代/男性)

・この地に引っ越してきてよく言われるのは「ここは何もないから」。外から来た私にとっては「あるある。歴史や自然や生活に必要なものは揃っているじゃない」とよく返しています。ないのは「選択肢が少ないの「ない」」だけだと思っています。九州は歴史や文化、自然がたくさんあると思っているので 地元の文化から興味をもっていけたらと思っています。(50代/女性)

・まだだいぶ早いのですが、「定年退職してから何を仕事として活動するか？」という事について、考えることがあります。その解決に近づける取り組みであれば是非参加したいという思いです。(30代/男性)

・災害対応のノウハウを習得できる機会が多い方がいいと思っています。特に高齢者しかいない地域でどのように避難するか日ごろの訓練が必要だと感じています。(60代/女性)

・到来する少子高齢化社会に向けて、英語を中心とした語学研修の必要性を感じる。なぜなら、近未来少子高齢化に伴う若年労働者不足による労働、介護現場の人員不足補充に外国人投与が考えられるためである。(70歳以上/男性)

・人生100年時代と言われています。日本では22歳程度までの学習で終えている事もしばしば。西洋諸国では、生涯学習がより進んでおり、それぞれの専門分野を活かした取り組みをより取り入れてほしいと思います。そこに地域の郵便局が一定の役割を果たせる場づくりを行いたい。(50代/男性)

・カリキュラムの企画・検討段階において、一般人の参画を行いPDCAをおこない継続した改善を行う必要がある。(60代/男性)

・結婚した人への講習会義務付け、夫婦の在り方、子育て(虐待、放棄)見分できる両親、祖父母がいない。成人者への講習(大人、法律)(70歳以上/男性)

○関係機関との連携

・生涯学習の視点で図書館のさらなる利活用の検討が必要。(60代/男性)

○学んだ成果の活用

・生涯学習は自分のために行うもので、それは最初から社会にボランティアとして提供するためのものではないと思います。(30代/女性)

・学習により老人の認知症予防などに役立つ仕組みを作ってほしい(50代/男性)

・私は働きながら通信性の大学を卒業し、そこでは多くの事を学びカリキュラムの中には会社でも活かせるような内容も多くありました。しかし私の勤めていた会社ではそれを活かそうという空気は無く、とても残念に思いました。大人になって勉強したことをもっと活かす社会であってほしいです。(50代/女性)

○行政に望む支援

・いろいろな活動をするにもお金がかかり、大変です。公的な助成の積極的拡大をお願いします。(50代/女性)

○その他

・何かを学び続けて生きていくというのはすべての人に当てはまる。ここで生涯学習と述べているものが何を学習することに焦点をあてているのかが不明確であり、また学習したものが地域に還元されるとは限らないものであるという事は確認しておく必要があると思う。生涯学習と地域活動を結びつけすぎているように感じる。(60代/男性)

・年齢に関係なく、働けるうちは、働く。高齢者の学習でなく、皆の学習として、やっていく。(70歳以上/男性)

・市民センターは正に地域の生涯学習の拠点ですが、利用者が高齢化した新たな参加者が殆どありません。10年もすれば利用者は激減するものと思われれます。その一因は自治会加入率の低迷にあると思います。市では「自治会に入ろう」などのユーチューブを作成し、市や市民センターのHPにアップしていますが、自治会未加入者が見る訳がありません。(70歳以上/男性)

「学び」の情報発信

生涯学習情報提供サイト「ふくおか生涯学習ひろば」で次の情報を発信しています。

○県内の大学や県の施設等が実施している学習情報

○様々な機関・団体のホームページとリンクして、リカレント教育（学び直し）やスキルアップ、大学の公開講座、ボランティア活動につながる情報を発信

ふくおか生涯学習ひろば

URL <https://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp>

ふくおか 生涯学習



ふくおか生涯学習ひろば

あなたの生涯にわたる学習を応援するためのお役立ち情報提供サイトです。

文字サイズ 大 中 小 音声読み上げ

HOME 学習・イベント情報 知識を広げたい 仕事につなげたい ボランティアに参加したい 生涯学習とは 施設一覧

ふくおか生涯学習ひろば facebook 配信中

福岡県NPO・ボランティアセンター
ふくおか生涯学習ひろば

公開講座情報

ふくおか社会教育ネットワーク
社会教育に関する新着情報はこちら!

通信制大学・大学院
放送大学

RSS#は
ほこり5
http://www.gakushu.pref.fukuoka.lg.jp/m/

携帯版はこちら

関連リンク集

新着情報

もっと見る

2021年2月14日	北九州市立大学 SDGs セミナー「中小企業はSDGsに取り組む必要があるのか？」 NEW
2021年2月14日	プチボランティア「園内のゴミ拾い」 NEW
2021年2月14日	北九州市立美術館本館「奇想の浮世絵師 歌川国芳～魅惑の演出スペクタクル」開催中 NEW
2021年2月13日	【京薬めぐり2021春】春の等覚寺周道トレッキング NEW
2021年2月13日	追悼・中村哲医師現地活動報告写真展 NEW
2021年2月12日	『ダイバーシティマネージメント福岡』を開催します！～障がいのある人の自立を支援する経営マネジメント研修～ NEW
2021年2月12日	【九州歴史資料館】「北部九州の経塚遺跡-京都国立博物館考古資料相互貸借展-」 NEW
2021年2月11日	令和2年度「働き方改革の実践事例の報告会」（オンライン開催） NEW
2021年2月11日	【社会包摂デザイン】「ファッションとジェンダー展」/記念講演 NEW
2021年2月10日	【九州国立博物館】天神縁起の世界～いろいろあって、神様になりました～ NEW